

# 勇気を持って 行動しよう



9月9日(月)は「救急の日」です。また、9月8日(日)～14日(土)は救急医療週間です。皆さんも、いざというときの対処法を理解し、1人でも多くの命を救えるようにしましょう。

少しでも早く傷病者の元へ

## 大切な命を救うために 迅速な処置を

大切な家族が突然、目の前で倒れたとき、あなたは何かができますか。

傷病者に何も救命手当てがなされなかった場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。

一方、成田市では救急車の到着までに平均約10分、震災や大規模な災害発生時は、さらに時間がかかる可能性が考えられます。救急車が到着する前に、現場に居合わせた人がどれだけ早く応急手当てを行えるかが、傷病者の救命や社会復帰も含めた今後の人生を左右します。

## 心肺蘇生法を 身に付けよう

市では、市民の皆さんにAEDの操作方法や心肺蘇生法を身に付

けてもらうため、定期的に普通救命講習会を開催しています。

AEDは、病気や事故などで心臓が正常に動かなくなった人に、必要に応じて電気ショックを与え心臓の動きを正常な状態に戻すための治療機器です。心電図の解析などを機器が自動で行うため、医師以外の人でも操作できるのが特徴です。

9・10月に開催する普通救命講習会の日程などは、広報なりた8月1日号で確認してください。

## 救急車の適正な利用にご協力を

平成30年の救急車の出動件数は7,208件で、このうち救急搬送した6,277人の約半数は、入院の必要がない軽症でした。緊急ではないのに救急車が要請

された場合、救急車を本当に必要とする傷病者の元へ遠くの救急車が出勤することになり、到着が遅れて救えるはずの命が救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく

自分で病院に行ける場合には、救急車以外の公共交通機関などを利用してください。

病状やけがの状況から、急いで病院へ連れて行った方が良くと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。その際、次のことを、慌てず、落ち着いて、はっきりと伝えてください。

- 住所市区町村名から
  - 年齢・性別
  - けがや病気、意識の有無
  - 既往症・かかりつけ医療機関
  - 通報者の氏名・電話番号
- ※くわしくは警防課(☎20・1592)へ。

## 9月7日は 救急キャンペーン

市では、市民の皆さんに応急手当の大切さを知ってもらおうと「救急キャンペーン」を開催します。AEDを使った心肺蘇生法や応急手当の体験のほか、救急車の展示なども行います。

日時=9月7日(土) 午前10時～午後4時

会場=イオンモール成田 1階和み広場、駐車場

※くわしくは警防課(☎20-1592)へ。



胸骨圧迫を練習